

長かった梅雨もようやく終わりが見えてきました。もうすぐ夏本番！！  
マスク姿での学校生活も2か月が過ぎようとしています。

7月16日（木）からは忙しい二日間でした。

まず1時間目。野菜の達人 柿原地区の森さんにご来校頂き支援学級の子も達にピーマン・ナス・トマトなどの畑に植えてある夏野菜について教えていただきました。森さんには5月の学校がお休みの間、畑の草刈りもお世話になりました。畑を耕してくださったのは宿間の伊達さんです。地域の方々のご協力で立派な野菜たちがすくすくと育っております。ありがとうございます。

お話では野菜には土の栄養がとても大切だということでした。ちょうど食べごろに育っていたのでみんなで野菜の収穫もしたようです。



2・3時間目は4年生。スクールバスを使って町内の上水道関連施設見学に出掛けました。

内子町内にはいくつかの水源地があるのですが、天神地区では小田川の伏流水（地下水）をくみ上げたままの水に水道法で基準値の塩素を少しだけ加えたものを水道水として使っております。この水はくみ上げてそのまま飲めるほどきれいなお水なので浄化の必要はありません。その水を高台にある配水池にポンプで送り、そこから水道管で各家庭まで送っている仕組みを役場上下水道班の方にご同行いただき現地にて教えていただきました。

今回は併せて内子町論田地区にある近代的な浄水場も見学いたしました。お金をかけて浄化しなくとも水道の蛇口をひねればおいしい水が当たり前で飲める、そんなこの地の生活のありがたさを子どもたちがわかってくれると嬉しく思います。

